ースティックな走りがほしかった。

ドライバーのアクセルワークに瞬時にレスポンスする…新しいブルーバード。このクルマにはスポーティな走りがよく似合う。ドライバーズシートに身を沈める。ステアリングを中心とした各操作系が、〝自分〟とマッチングしているのがわかる。フットペダル類もペダルコントロールのしやすい最適なレイアウトになっている。エンジンをスタートさせる。エンジン音が耳に心地よい。さらにアクセルペダルを踏み込む。するとその動きに合わせ、あたかもドライバーの気持ちを読みとっているかのようにエンジンが小気味よく回る。走り出す。ハンドルを切る。すると狙ったラインにクルマがピタリとついて来る。そのフィーリングはドライバーに実に忠実で自然だ。人とクルマの関係を快くしかも密接に結ぶ。スポーティ&コントローラブル。私はブルーバードにこんな才能を与えたかった。走る、曲がる、止まる。その全ての瞬間に最高のクルマであってほしい。その願いはいま新しいブルーバードで実現された。新しいブルーバード。それはアコースティックな性能を持ったクルマだ。

新型ブルーバード開発担当主管